

## Moodle2.4における機能改善について

森野 誠之（愛知大学非常勤講師）

### 1. はじめに

本学ではMoodleは2009年度から利用を開始し、利用者数・コース数（科目）・アクセス数なども順調に増加しており、導入から4年目の2012年度は年間400コースを超えて利用されている。その一方で、現在のMoodle1.9ではフォーラムに複数のファイルをアップロードできない、添削した課題のファイルを返送することができないなどの問題がある。最新のMoodle2.4では前述の問題が解決されていることに加え多くの機能改善がされている。ここではMoodle2.4で追加された新機能を中心に紹介する。

### 2. Moodle2.4で追加されている主要新機能

Moodle2.4で追加されている主要新機

能を列挙する。

- ・ドラッグ&ドロップでのファイルアップロード
- ・課題モジュールで複数ファイルの提出，ファイルでのフィードバック
- ・フォーラムで複数ファイルのアップロード
- ・コース内で活動とリソースの複製（コース間のコピー不可）。
- ・スマートフォン対応

いずれも今まで利用教員からの要望が多く出ていたものであり，2.4を導入することによって解決できるようになる。

#### 2.1 ドラッグ&ドロップでのファイルアップロード

図1 にドラッグ&ドロップでのファイルアップロードを示す。

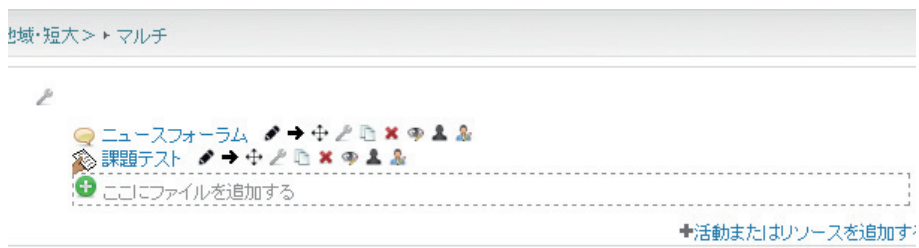


図1 ドラッグ&ドロップでのファイルアップロード

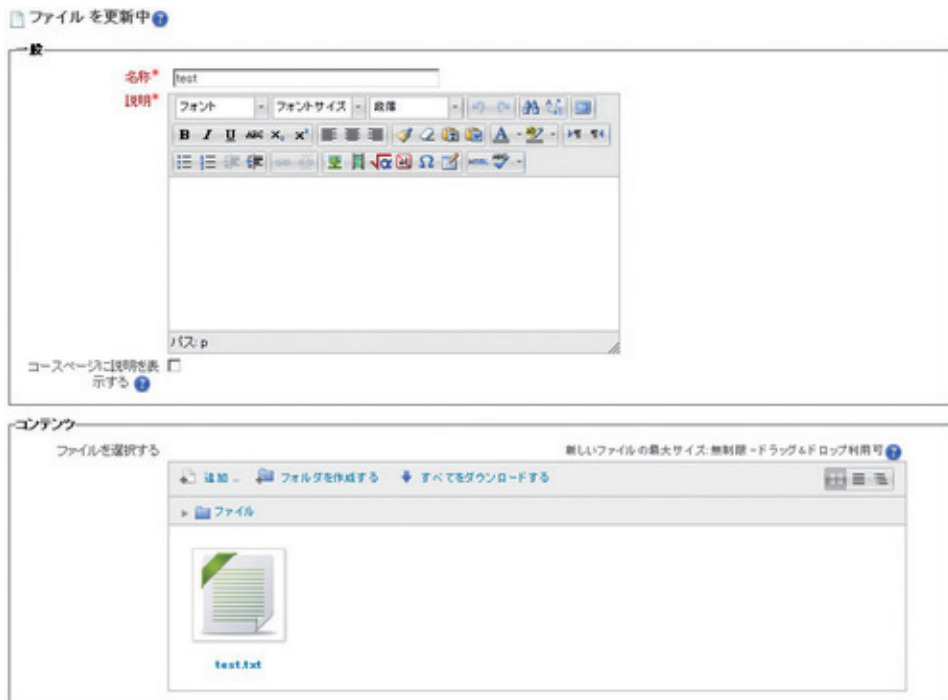


図2 ファイルの管理画面

図のようにファイルをドラッグすると「ここにファイルを追加する」という文字が表示され、ドロップすることでアップロードが完了する。同時に複数のファイルをアップロードすることも可能であり、1.9の時のように何度もファイルをアップロードする必要がなくなる。アップロードしたファイルはトピックごとに管理されており各ファイルの編集ボタンをクリックすることで名称の変更ができる。フォルダの作成、ファイルの追加・削除などもこの画面から行える（図2）。

ただし、1.9ではコース管理メニューに「ファイル」という項目があったが2.4では消滅しており、ファイルの管理は全て

トピック単位で行うことには注意が必要である。また、Internet Explorerではバージョンによりドラッグ&ドロップの機能が使えない場合がある。

## 2.2 課題モジュールで複数ファイルの提出、ファイルでのフィードバック

課題モジュールでは学生に複数ファイルを提出させる機能、教員からファイルでのフィードバックを行う機能が追加されている（図3）。これら以外にも「学生に提出ボタンのクリックを求める」などの機能も追加されているが煩雑であるために省略する。

課題設定						
開始日時	25	9月	2012	14	00	<input checked="" type="checkbox"/> Yes
終了日時	2	12月	2012	14	00	<input checked="" type="checkbox"/> Yes
常に課題説明を表示する	Yes					
提出期限後の課題提出を禁止する	Yes					
学生に提出ボタンのクリックを求める	Yes					
評定者に提出を通知する	Yes					
提出遅延に関して、評定者に通知する	Yes					

提出設定	
オンラインテキスト	No
ファイル提出	Yes
最大アップロードファイル数	5
最大送信サイズ	コースアップロード上限 (128MB)
提出コメント	Yes

フィードバック設定	
フィードバックコメント	Yes
フィードバックファイル	No

図3 課題の設定画面

1.9の場合は複数ファイルの提出をさせる時は「高度なアップロード」を選択する必要があったが2.4では「オンラインテキスト」とともに「課題」モジュールにまとめられている。複数ファイルアップロード時は「最大アップロードファイル数」を変更し、オンラインテキストの

課題を実施する場合は「オンラインテキスト」をYesに設定する。ファイルでのフィードバック（添削ファイルなど）は「フィードバックファイル」をYesにすれば良い。これらの機能改善のおかげでより柔軟でより密な課題管理ができるようになったといえよう。

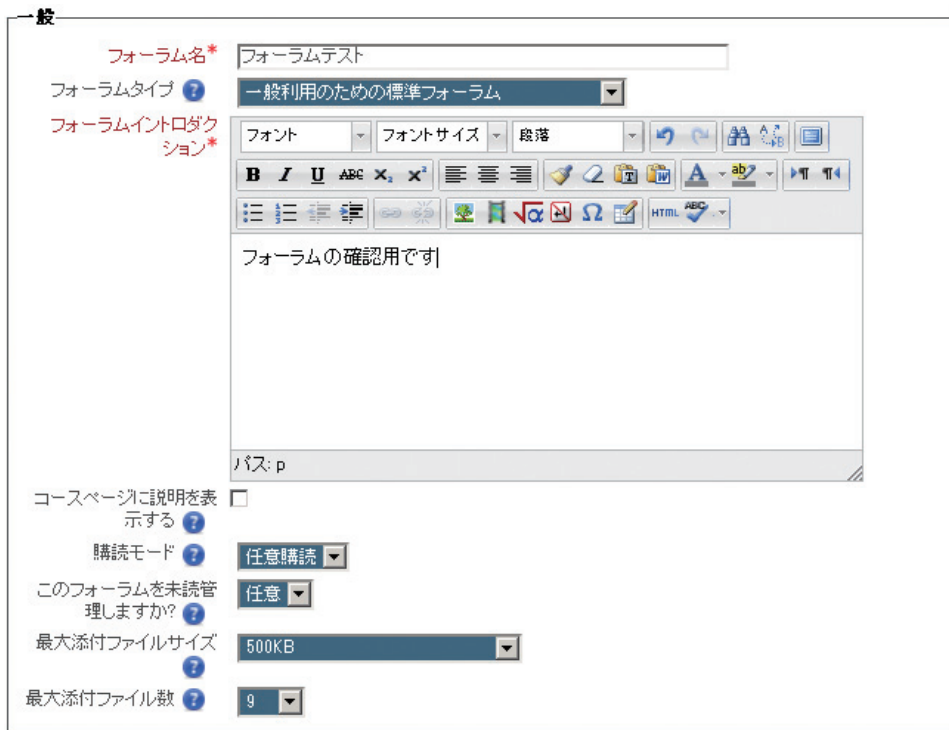


図4 フォーラムモジュール設定画面

### 2.3 フォーラムで複数ファイルのアップロード

図4にフォーラムの設定画面を示す。図4の一番下にある「最大添付ファイル数」を変更することで複数のファイルをアップロードすることができるようになる。フォーラムモジュールは学生の意見集約の場所として活用される以外にゼミでの論文指導に使われることが多く、その際に複数ファイルのアップロードが求められていた。今まではzipファイルに圧縮しての利用であったがこの改善で、学生にもわかりやすくシンプルな運

用ができるようになっている。

### 2.4 コース内で活動とリソースの複製 (コース間のコピー不可)

今まではコース内で同じような課題やラベルを作成するときは毎回新規で作成する必要があったが、複製機能でこれらの手間が省けるようになる。活用シーンとしてはグループごとに設定している課題が主なものであろう。図5に設定画面を示す。

コースを編集モードにすることで複製ボタンが現れる (図5黒枠)。これをク



図5. リソース、活動の複製ボタン



図6 複製された活動



図7 スマートフォン用の Moodle

リックすることで簡単に複製することができる（図6）。

## 2.5 スマートフォン対応

2.4ではスマートフォン専用のテーマファイルも用意されており、スマートフォンでもPDFファイルの閲覧、フォーラムへの書き込みなどが容易になっている（図7）。

ただし、課題の提出はできないので、あくまで閲覧とフォーラムへの書き込みと考える方が良いでしょう。また、タブレットではPCのテーマが表示されるのは従来通りである。

## 3. 注意点と今後の課題

本稿で示した画像はいずれも開発中のものであり公開時には変更される可能性があることに注意されたい。2.4は2013年度からの導入を検討しておりマニュアルの整備、講習会の開催など利用者がスムーズに移行できるような準備を進めている。

近年のMoodleは開発スピードが速く頻繁にアップデートされているが不安定な場合も多く、導入には繰り返しのテストと他校での導入事例を調べる必要がある。

